

弥彦村社教だより

令和2年8月25日 NO.17

弥彦村社会教育委員の会

《あいさつマーク運動の推進》

昨年一年間、中学校PTA会長を務めさせていただき、子どもたちの活動に、より身近な立場で関わる中で、「子どもたちがもっと関わり、活躍できる弥彦村にしたい」という思いを強くしました。社会教育委員としての活動を通じ、子どもと大人の違いや、立場、地域の隔たりなど関係無く、全ての村民の皆様が関わる事のできる取組をしたいと考えています。

小・中学校では、あいさつ運動に取り組んでいます。地域の方からは、「気持ちの良いあいさつをしてくれる子どもが増えた。」という声もあれば、「あいさつしても無視する子どもがいる。」との声もあります。また、子どもたちからは、「あいさつしても返してくれない大人がいる。」という声が聞かれます。このことを、昨年の地域づくり交流会で話し合いました。そこでの意見を基に、以下の取組で、村を盛り上げていきたいと考えました。

事業名 あいさつマーク運動（仮称）

- 目的
- ① 村民同士が、誰とでも、どこでも、あいさつを交わし合える村づくり
 - ② あいさつ運動を通して防犯意識の向上と体制強化を図る
 - ③ 村民同士の交流が深まることで、村のイベントへの参加意欲を高める
 - ④ 「あいさつの弥彦村」を村外に発信し、行ってみたい村・観光地への知名度アップをねらう

実施期間 令和2年度～6年度（年度ごとに推進時期を決めて取り組む）

実施場所 村内各地、年度ごとに活動場所を増やしていく。

協力依頼 弥彦小・中学校、PTA、学校運営協議会、保育園、老人クラブ、保護司会、民生児童委員、商工会、観光協会、旅館組合、個人事業者
・・・年々参加依頼団体を増やす予定

その他 5年計画の下、事業を展開する。

具体的な内容については、今後、社会教育委員の会で協議して取り組んでいきます。時間をかけて、少しずつ成果を上げていきたいと思っております。皆様の御理解と御協力を宜しくお願い申し上げます。

（文責 半間）



《スクールサポーター募集》

☆輝く子ども・輝く学校☆

小・中学校や地域の活性化のために、村ではスクールサポーター事業を行っています。昨年度からスクールサポーターの募集を始め、今年度から活動を行います。（コロナの関係で開始が遅れました）できる時に、できることから、一緒に活動してみませんか？

<活動の一例>

- ◎ 花壇・校庭の手入れや管理
・・・キレイな校舎で気持ちもキラキラ！
- ◎ 弥彦山登山のサポート・・・子どもたちと気持ちの良い汗を！
- ◎ 校外学習のサポート・・・充実した活動になるために！！
- ◎ 学習のサポート・・・調理実習やミシン練習の補助！！
放課後や長期休みを利用して学習支援！！
- ◎ 行事への協力・・・子どもたちや先生方と素敵な思い出を！！

その他、様々な場面でサポートが必要とされています。登録の際は、村からの補助で傷害保険に加入した上で活動していただきます。「村の子どもの活動に協力したい」「学校の助けになりたい」「村を盛り上げたい」など、村民どなたでも参加できます。興味のある方は、弥彦総合文化会館職員（担当：徳永：94-4311）にお電話ください。登録をお待ちしております。

（文：阿部千恵さん）



地域コーディネーターの2人
左から柏原路子さん・阿部千恵さん

☆ 私たちが窓口となります。
いつでも、声をかけてください！
普段は弥彦小に勤務しています。

《第6回地域づくり交流会のご案内》

毎年実施している地域づくり交流会も6回を数えます。新型コロナの影響が心配されますが、今年も交流会を実施します。これまで、地域の課題を出し合い改善のための協議を通して、具体的に実践することに取り組み始めました。今年度は、その取組事業に関して報告してから、「村の活性化のために、私たちは何ができるか？」をテーマに協議を行います。昨年度は、中高生が参加して、会が盛り上がり、充実した交流会になりました。

今年も、多くの方に参加してほしいものです。中高生の皆さんも、奮って参加してください。後日、詳しい内容を示したチラシを回覧します。

現在の予定は右のページに示します。不明な点があれば、社会教育委員の会事務局にお問い合わせください。

（文責 柏原）



～地域づくり交流会の概要～

日 時	令和2年11月28日（土） 15：30～17：30（予定）
会 場	弥彦村役場 大ホール
内 容	報 告 ① あいさつマーク運動の進捗状況 ② 第2回PR動画コンクールの開催に向けて
協 議	「村の活性化のため、私たちは何ができるか？」 ※ 懇親会は、今年度はコロナウイルス感染予防のため中止の予定

《弥彦PR動画コンクール》

前回のたよりでPR動画コンクール実行委員の募集をしたところ、1名の応募がありました。高校生の阿部歌諄さんです。若い人から興味をもってもらえることは、社会教育委員の立場からすると、大変ありがたいことです。地域づくりに興味をもってくれる人が増えることが、地域を変えていくために最も大切なことと考えるからです。しかし、どこの市町村でも地域づくりの課題になるのが、「若い人をどうやって地域づくりに取り込むか」ということです。ですから、この活動に若い人が参加してくれて嬉しいのです。

社会教育委員の合言葉は、「まずは、仲間を集め、できることから取り組んでいくこと」です。この取組に興味がある方は、下記事務局にご連絡ください。

以下は、阿部歌諄さんの決意表明を掲載します。 (文責 石井・那須)

～PR動画実行委員に参加して～ 阿部 歌諄（かさね）さん



阿部歌諄さん

この度は縁あって弥彦PR動画コンクール実行委員に参加させていただくことになりました、新潟青陵高校三年生の阿部歌諄です。私は弥彦村が大好きです。この弥彦村の魅力を多くの人に伝えたいと考えた時、PR動画を投稿する側ではなく、その運営に携わりたいと思いました。昨年度に行われた地域づくり交流会に参加させていただいた際に、第1回弥彦PR動画コンクールの詳細と今後についてグループ討議をしました。その時は、まさか自分自身がこの活動に関われることになると思っていませんでした。でも、今は、とても嬉しく、やる気に満ち溢れています。私はまだ高校生ですが、弥彦を好きな気持ちとやる気があれば、誰でもこの活動ができると思います。一緒に実行委員会を盛り上げ、弥彦の魅力を発信していきませんか？

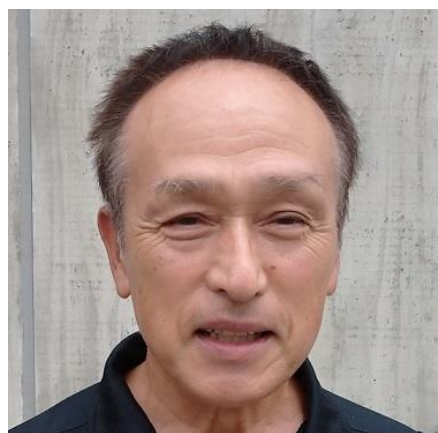
(文：阿部歌諄さん)

《弥彦で頑張る人を紹介します》

～自助、互助・共助を根付かせて地域を守る～ 阿部耕一郎さん

「災害等があった時、行政に頼るのではなく、地域を守るのは僕ら地域の間人である。」そう語ってくださったのは、麓一区の区長で、麓一区・西境江地区自主防災組織会長を務める阿部耕一郎さんです。前職が消防士で、防災に対する知識も経験も豊富です。そのため、避難訓練をどこの地区よりも早く実施したそうです。

元々この地域には住民組織が多くあり『麓地区を良くする会』『伝承の会』『いきいきサロン』『J A 婦人部』等の地域の方々の結束力が強く、一昨年の豪雪の際に、一人暮らしの高齢者宅の除雪作業を住民で助け合って行ったそうです。



阿部耕一郎さん

地域の中の社会福祉施設「特別養護老人ホーム桜井の里」とも繋がりを持ち、施設の納涼祭では『麓地区を良くする会』がお好み焼きを焼き、利用者にお祭りの雰囲気を楽しんでもらっています。また、万が一の時に協力できる関係を築くために、麓一区・西境江地区の防災訓練には桜井の里の職員も参加し、施設内での火災や地震を想定した【夜間通報の伝達訓練】を施設と地区間で行っているそうです。

春まつり、盆踊り、賽の神等々の伝統的文化や行事が、後世に残していくために大切に受け継がれています。しかし、今年はコロナウイルスの影響で、様々な行事が中止となりました。そんなコロナ禍で、マスク不足を危惧し、「村に頼らず自分達でなんとかしよう!!」と、3月末に『伝承の会』の方々に協力してもらい、高齢者の方々を対象とした手作りマスク作成が行われました。初めは80歳以上の方々を対象に作り始めました。思いの外、たくさんできたので、75歳以上の方々と75歳以下で障害をお持ちの方を含め、75名に各2枚ずつ配ったそうです。「地域内で手づくりマスクをしている姿を見かけると、とても嬉しい気持ちになった。」と話されていました。その後、全世帯対象に購入した不織布マスクを2枚ずつ地区独自で配布されたとのことでした。

阿部さんの実践されている「自助、互助・共助。隣近所助け合いの気持ち」が、ぜひ村中に広がってほしいものです。(文責 那須)

委員長	渡辺 和也 (矢作)	副委員長	柏原 路子 (麓二区)
委員	那須 裕美子 (川崎)	委員	河井 昌之 (弥彦中校長)
委員	半間 義之 (矢作)	委員	石井 亘 (井田)
委員	阿部 朗子 (弥彦)		
事務局	堀 隆行 ・ 徳永 拓実 (教育課)		

※ ご意見、お聞きになりたいことがある方は、近くの委員、もしくは、教育課事務局にお電話ください。(事務局94-4311)